

**スクウェア・エニックス、モバイル広告ビジネスに参入  
携帯電話向けアプリ『待ちスロ<sup>®</sup>』でB to B（ビジネス to ビジネス）事業を開始**

このたび、株式会社スクウェア・エニックス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：和田洋一、以下スクウェア・エニックス）は、携帯電話向けアプリ『待ちスロ<sup>®</sup>』で、B to B事業を開始しました。事業への参入にあたっては、株式会社ディー・ツー・コミュニケーションズ（社長：藤田明久、本社東京都中央区、以下D2C）が『待ちスロ<sup>®</sup>』の販売を行い、D2Cが運営するiモードの情報サイト「とくするメニュー」上でキャンペーンを展開している企業に対して提供を開始しています。

『待ちスロ<sup>®</sup>』は、「スロット」の機能を持った特別な待ち受けアプリで、企業がモバイルを活用したプレゼントキャンペーン等に利用することのできる全く新しいモバイル広告メディアです。同アプリにおいては、発信、着信にかかわらず、通話が終了した際に通常の待ち受け画面が自動的にスロット画面に切り替わり、そのスロットが回転を始めます。そして、図柄が揃うとキャンペーン実施企業が用意した様々な商品が無料で当たるといったこれまでにない斬新なシステムを持っています。

企業は、『待ちスロ<sup>®</sup>』の待ち受けアプリの画面を企業PRや商品宣伝に利用し、さらに商品やノベルティ等をプレゼントすることで、ブランドイメージ、キャラクター、商品等をユーザーへ訴求することが可能です。企業にとっては、自社でモバイルサイトを制作するコストや手間を省くことができ、またプレゼントに応募したユーザーのデータ管理や抽選を行う必要も無く、簡単にモバイルキャンペーンを実施することができます。

スクウェア・エニックスは、モバイル分野における全く新しいタイプの広告メディアとして『待ちスロ<sup>®</sup>』を積極的に展開し、企業のモバイルキャンペーンをサポートしていきます。また、今後もさまざまなアプリの開発・提供を行うことにより、B to B事業の拡大を図っていきます。

【商品概要】	
商品名	「待ちスロ <sup>®</sup> 」
内容	待受アプリの画面を広告メディアとして各企業に販売し、告知商品のアプリを制作、管理、運営する。
対応機種	NTTドコモのiモード「505i、505iS、900i」シリーズ * 今後は、au、ボーダフォンの機種にも対応予定。

「待ちスロ」のしくみ



(C) 2004 SQUARE ENIX CO.,LTD.All Rights Reserved.

\*「待ちスロ」は、株式会社スクウェア・エニックスの登録商標です。